

伊藤忠テクノソリューションズ株式会社 (CTC)

～ハードをふんだんに活用し、凝縮されたノウハウを短期間で学べる研修

クラウド、セキュリティの最新のテクノロジーにスピード感を持って
能力開発できる良い研修を受けさせることができました

伊藤忠テクノソリューションズ株式会社 技監/部長
流通・エンタープライズ事業グループ 流通・EP 第1本部 サービスビジネス技術第3部
剣持 英雄



流通・エンタープライズ事業グループは総勢、1500名が在籍している伊藤忠テクノソリューションズの中でも最も大きな事業グループです。

当グループは担当分野が幅広く、インフラ構築案件における作業領域としては上流工程に携わることが多いです。

上流工程を担当するためには、基礎知識として実機の構築経験が必要なのですが、実案件では外注する工程であるため経験する機会が少ないことが実情です。そのため、新入社員の基礎研修として、実機を使ったインフラ構築研修を企画しました。

CTC テクノロジーの研修はもともと社内で評判が良く、CTC グループのノウハウが体系立てて学べる研修になっていることもあり、今回の研修として採用しました。

新入社員は配属されるとプロジェクトに参画するため、まとまった研修期間を作るのが難しくなります。そのため、配属前に2か月弱の期間を使い、研修することにしました。

2か月集中して学べる実機研修というのは効率的であり、とても評価しています。来年の新入社員にも受講させたいと考えています。

<CTC 流通・エンタープライズ事業グループ>

当グループは製造業、メディア、サービス、自動車、流通、食品・卸、運輸、生活消費財、その他産業等の企業に対し、グループ総合力を活用したトータルソリューションを展開しています。

製造業向けでは、インフラ構築・システム開発に加え、グローバルを意識したインフラ基盤を構築するために、IaaSやPaaSといったクラウドインテグレーションを推進し、コンサルティングやハイブリッドクラウドによるサービス提供など、お客様のニーズに最適なソリューションを提供しています。

また、流通分野では、グローバル活動を支える総合商社の基幹システム、重要な社会インフラの一部となったコンビニエンスストア・ガスターションの店舗システムなど、開発ビジネスを中心に、保守・運用、クラウドサービス、データセンターサービス、アウトソーシングサービスに至るまでのトータルサービスを提供しています。

企業情報

会社名：伊藤忠テクノソリューションズ株式会社 (略称CTC)
 英文社名：ITOCHU Techno-Solutions Corporation
 本社所在地：東京都千代田区霞が関3-2-5 霞が関ビル
 URL：<http://www.ctc-g.co.jp/>
 代表者：代表取締役社長 菊池 哲
 創立：1972年4月1日
 設立：1979年7月11日
 資本金：21,763百万円
 社員数：単体 4,253名、CTCグループ 8,385名 (2017年4月1日現在)

事業内容：コンピュータ・ネットワークシステムの販売・保守、ソフトウェア受託開発、情報処理サービス、科学・工学系情報サービス、サポート、その他

CTC

Challenging Tomorrow's Changes

(右より) シーティーシー・テクノロジー株式会社 サービス営業推進部 サービス営業推進第2課 村田 孝太、伊藤忠テクノソリューションズ株式会社 企画統括部 人事企画課 課長 岡田 俊樹、伊藤忠テクノソリューションズ株式会社 技監/部長 流通・エンタープライズ事業グループ 流通・EP 第1本部 サービスビジネス技術第3部 剣持 英雄、シーティーシー・テクノロジー株式会社 サービス営業推進部 部長 田中 武志



伊藤忠テクノソリューションズ株式会社 流通・エンタープライズ事業グループ 企画統括部 人事企画課 課長、岡田 俊樹に研修受講のきっかけや本コースを選ばれた理由をお聞きしました。



Q. インフラ構築総合研修を受講されようとした背景・きっかけについて教えてください。

エンジニアのキャリアパスとして設計、仕様策定、プログラミング、インフラ構築が設定されていました。以前は、インフラ研修は OJT や特定の社員のみ受講させていましたが、前述にある通り技官である剣持の提案により、今回から新人全員が受講するようになりました。

Q. CTC テクノロジーの対応はいかがでしたでしょうか？

最終的に34日間の長期研修になりましたが、当社の要望に対して短縮され、うまくまとめられた良い研修になりました。日程、教室のキャパシティなどの変更の依頼に対しても柔軟にストレスなく対応頂きました。

Q. 講師についてはいかがでしたでしょうか？

講師の方々には受講者一人一人をよく見ていただき、的確なレポートを頂きました。また能力開発以上の指導も対応頂きました。一般的な研修とそのレポートでは、なかなか見えなかったところが見えるような知識やノウハウをいただきました。

Q. 本研修の評価についてコメントをお願いします。

今回の研修内容は現場の技術責任者の方がまとめられた研修であり、実践的な内容を効率的に学ぶことができる素晴らしい内容だったと考えています。また、ここまでハードをそろえた研修は他にはないとも感じています。講師の質も高く、本当にインフラ構築・運営のノウハウを学ぶならこの研修しかないという内容でした。

受講者からも「あれだけの長い時間、実機を触りながら学べたのはよい経験になりました。」との評価を多くいただいています。システムインテグレーターは分業制なので、今回の通して学べるのは良い経験であったと感じています。受講生たちはインフラ構築が初体験なので、数年後にこの経験が生きてくるはずですよ。また、配属後にサービスマンの気持ちもわかるでしょう。これにより社内でのコミュニケーションも効率的になり、仕事もやりやすくなるはずですよ。

◆ 今回採用された研修「インフラ総合演習」について

本研修は学習した内容を体系立てて実践していく為のプロジェクト実践型総合演習です。

本研修の特徴

- ▶ ステップアップ課題を組み合わせることで、架空企業のネットワーク/サーバといったインフラの設計・構築・評価を行います。
 - ▶ 顧客要件を自ら想定して、要件の洗い出しを行い、各種ドキュメントやパラメータシートを作成します。
 - ▶ ドキュメントに基づき各種ネットワークデバイスやサーバの設定を行います。
 - ▶ 動作確認試験に必要なテスト項目を検討および実施し、要件を満たすネットワークインフラを構築します。
 - ▶ グループごとに演習の成果を確認し、相互評価を実施します。
- ▶ 学習した知識を能動的に活用することで即戦力を養います。
- ▶ プロジェクトの流れを把握して、構築作業における各プロセスの重要性を体験として身に付けて頂きます。
- ▶ コミュニケーションスキルやプレゼンスキルを修得します。
- ▶ 成果物をグループごとに確認してもらい、他のグループとの違いを知ることで、自らのスキル/成果/構築等の設計等の違いを明確に知ることができます。
- ▶ プロジェクトの達成という成功体験を得ることで、業務への向上心・モチベーションを高めます。

顧客要件ヒアリング

ドキュメント書作成

インフラ構築作業

動作試験

発表会

相互確認 & 評価
振り返り

※カリキュラム概要とインフラ構築例は「別紙1 [インフラ総合演習] カリキュラム概要と総合演習例」をご参照ください。

「インフラ総合演習」
開催に関するお問い合わせは Web から

<https://www.school.ctc-g.co.jp/>

お問い合わせ先

CTCテクノロジー株式会社
ラーニングソリューションサービス部

〒105-0001 東京都港区虎ノ門 4-1-1 神谷町トラストタワー

TEL.03-6403-6117

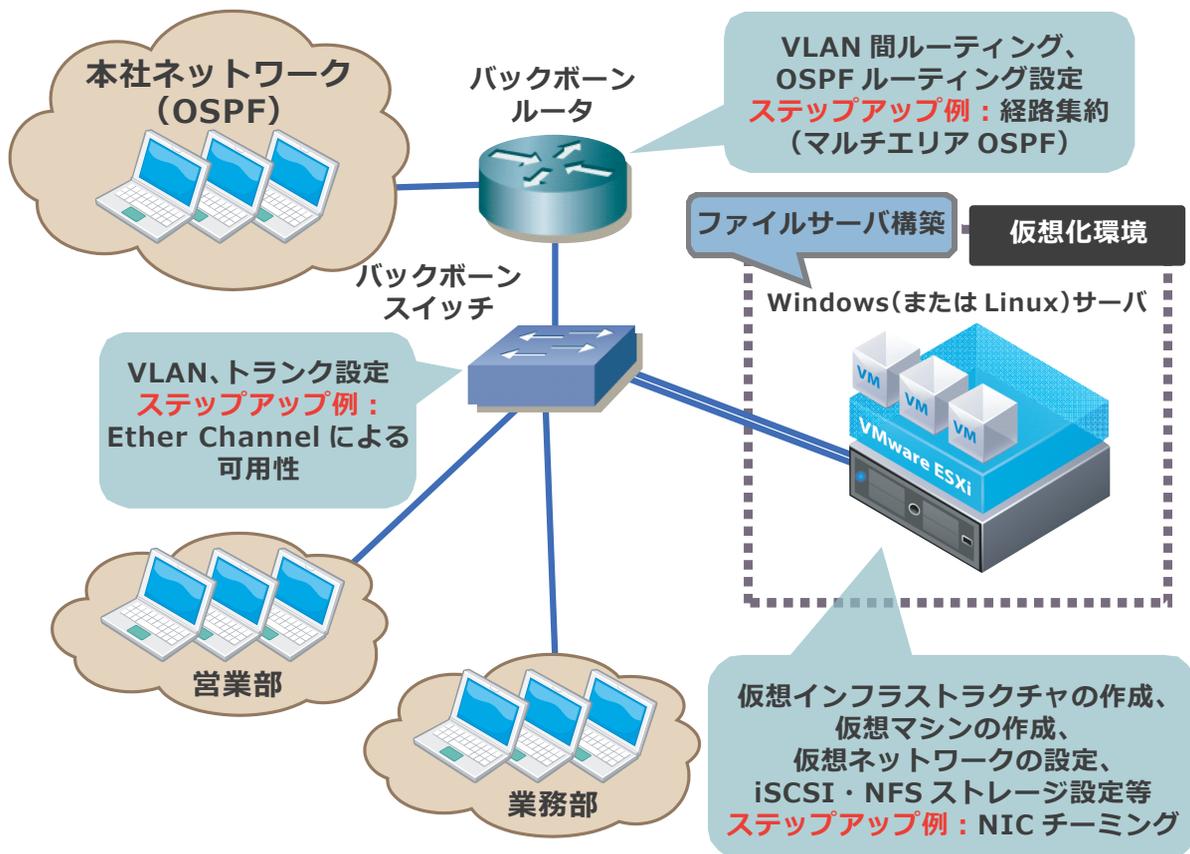
E-mail:sbsm-training@ctc-g.co.jp

<https://www.school.ctc-g.co.jp>

カリキュラム概要

No.	カリキュラム	日数	概要
1	ネットワーク技術 初級編	3	TCP/IP通信の仕組みを学習します。また、小規模から中規模のネットワークで使用されるCiscoデバイスの基本的技術を学習します。
2	Linux入門	2	LinuxとはどのようなOSであるかを理解し、Linuxを使用するにあたり必要となる基本的な概要や操作について学習します。
3	Linuxシステム管理	3	Linuxのシステム管理・運用に必要な設定ファイルや管理コマンドに関する技術知識を学習します。
4	インターネットサーバ構築	3	インターネットに公開する各種サーバの概念と設定方法を学習します。
5	Windowsシステム管理	2	Windows (Windows Server 2012) のシステム管理に必要なツールの使用方法及び操作方法を学習します。
6	Windows ActiveDirectory	2	Windows Server 2012で、アカウントを集中管理するためのActive Directory ドメインサービスの構築および基本的な管理方法を習得します。
7	インフラ構築総合演習① (物理環境)	5	企業のインターネットアクセス環境整備をケーススタディとし、物理的なネットワークインフラの設計および構築を行います。RFPの提示～システム設計・構築～提案コンペまでの一連のプロセスを体験することで、研修で得た知識の定着を図る。また、顧客目線の重要性を認識します。
8	ネットワーク技術 中級編	2	企業ネットワークで使用されるルーティングプロトコルや、冗長化機能、IPサービスなどと、ネットワーク設計の基礎を学習します。
9	ロードバランサ技術	1	ロードバランサの概要と、ロードバランサを使用する上で必須となる基本技術を学習します。
10	セキュリティ技術	2	コンピュータネットワークにおける脅威と具体的なサイバー攻撃手法について学習します。また、各攻撃手法に対するセキュリティ対策についても学習します。
11	ストレージ技術/仮想化技術	4	IT環境の様々な場面で使用されているストレージシステムの基本概念・機能を学習します。VMware vSphereを使用することで、構築したIT環境でどのようにサーバ仮想化技術が使用されているのかを効率的に学習していきます。
12	インフラ構築総合演習② (仮想化環境)	5	研修最後の総まとめとして、これまで学習してきた内容を盛り込んだ、企業のインターネットアクセス環境整備をケーススタディとし、ネットワークインフラ (仮想化環境) の設計および構築を行います。RFPの提示～システム設計・構築～提案コンペまでの一連のプロセスを体験することで、研修で得た知識の定着を図る。また、顧客目線の重要性を認識します。
合計日数		34	

インフラ総合演習例



※本研修は伊藤忠テクノソリューションズ株式会社向けに特別にカスタマイズされた研修になりますが、他の企業向けにも提供できます。興味がある方は以下よりお問い合わせ下さい。

お問い合わせ窓口：<https://www.school.ctc-g.co.jp/form/contactus/>